




様式第5号（第5条関係）

令和元年7月26日

益田市議会議長
弘中英樹様

議員 永見 おしえ 

益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和元年度（前期）政務活動費収支報告書

1 収入
政務活動費 60,000円

2 支出

(単位円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	63,300	令和元年5月8日～10日
研 修 費		1. 町田市議会
広 報 費		2. 立川子ども未来センター
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	63,300	

3 残 額 0円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出報告（調査研究費）

視 察 先	1. 東京都町田市 2. 東京都立川市						
調 査 日	令和元年 5月 8日（水）～5月10日（金）						
視察内容	東京都町田市 議会改革について 東京都立川市 子育て支援について（子ども未来センター）						
経 費	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">交通費 宿泊費（飛行機パック）</td> <td style="text-align: right;">63,300円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">円</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">円</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">円</td> </tr> </table>	交通費 宿泊費（飛行機パック）	63,300円	円	円	円	円
交通費 宿泊費（飛行機パック）	63,300円						
円	円						
円	円						
所 感	<p>1. 町田市議会 議会改革について 市議会議長 若林章喜様、事務局長 古谷賢治様に対応していただきました。</p> <p>市の概要 人口428,706人。1市4町が合併により誕生した商業都市。新宿・横浜への通勤時間が30分以内。</p> <p>① 市議会への関心は、毎年行っている市民意識調査により数値化されている。直近の5年間の傾向は同じであった。</p> <p>② 議員定数は1万人に1人として36名の定数にしている。</p> <p>③ 主権者教育支援事業の取り組みについて 平成29年に初めて開催。「町田をどう創る」をテーマに議員を交えてワークショップを行い、本会議場で成果発表をしている。</p> <p>④ 全員協議会の公開 平成10年から原則公開。傍聴者はいない。傍聴券を配布。</p> <p>⑤ 議員育児休暇について 平成20年会議規則にある欠席届に「育児」を追加した。</p> <p>⑥ 各常任委員会による市民団体等の懇談会を開催。 平成30年度7団体と実施。意見交換を目的として実施。</p> <p>⑦ 議場の電子表決 平成22年新庁舎移転に伴い、ボタン式を導入。</p> <p>⑧ 議案カルテ 平成23年10月よりHP上に「議案のカルテ」を掲載。 委員会の審査から議決結果まで概ね2日以内に公表する。</p> <p>⑨ 議場や委員会でのパソコン・タブレットの使用について 平成23年12月からパソコン・タブレットの持ち込みを開始。</p>						

紙ベースの議員もいる。

- ⑩ 決算認定を各委員会で実施するメリットについて
平成28年より実施。議案の審査と予算の審査を常任委員会で行うことにより、委員会で出された意見を次年度に反映できる。
- ⑪ 議会だよりの配布状況について
議会だよりを新聞折り込みにしていましたが購読者が6割のためJRや学校等の公共機関に配布してきた。平成28年7月からは、市内のスーパーでも配布している。
- ⑫ 市議会開催をポスターにしてバス掲出。
平成27年第2回定例会から「議会を開きます」ポスターを作成し、バスに掲出している。定例会や委員会の傍聴やインターネットを見てもらうことを目的としている。
町田市の議会改革は、議会への関心を高めるためのさまざまな取り組みをされていた。益田市議会としても、身近な議会にするための改革少しずつ取り入れていきたいと感じた。視察対応も多いせいかもしれないが会議室の中央のテーブルのお花の中に益田市と町田市の市章が置いてあり、おもてなしの心をととても感じた。

2. 立川市子ども未来センター

センター長 初鹿俊彦様、教育支援課長 秋武典子様より説明を受けました。

市の概要 人口 183,923 人、東京都のほぼ中央に位置し都心から 30km圏内にある。

- ① 立川子ども未来センターは、旧庁舎の後利用として改修して設置された施設である。目的は、子育て・教育・文化芸術活動及び市民活動の支援や地域の賑わいを創出することとして平成24年に開設された。指定管理により運営されている。
- ② 行政窓口として子どもに対する切れ目のない支援の取り組みを目的に、子ども教育部子ども家庭支援センターと教育部教育支援課の2課が同室に事務所があり横断的な体制ができていた。さまざまな相談機能が一カ所に集約されていた。
- ③ ファミリー・サポート・センターの事業実施状況は、援助会員の獲得の啓発に努めている。
- ④ 子育てひろばの運営状況は、乳幼児と保護者が気軽に集い交流する場としている。同じ環境にある保護者の心のサポートとなって喜ばれている。
- ⑤ 保護者、利用者の利用状況については、ファミリー・サポート・センター事業が子育ての保護者にとっては、生活のリズムの中にあるあり大変好評である。平成29年度の活動件数は、8,318件

あり、上位は、障がいを持つ子どもへの援助、保育所・幼稚園の送迎、子どもの習い事への援助となっていた。

- ⑥ 子育て支援啓発事業はやっているが参加者が少ない状況で啓発活動の必要性を感じていた。子育てについて気軽に話せる場を提供し、自主的な市民からの啓発活動の醸成に努めている。

立川市子ども未来センターでの取り組みは、子育て支援のすべてをサポートしている場所であった。切れ目のない発達支援とすき間のない子育て、教育支援を行っていた。子ども家庭支援センターと教育支援課の2課が同じ事務所に設置され横断的な支援体制をとることができていることはとてもいいことだと感じた。実際相談についての対応が早くできると言われていた。益田市においてもこうした対応ができる体制づくりが必要と感じた。

施設内に「立川まんがパーク」がありたくさんの方が利用されていた。ユニークな取り組みであり参考にできたらと思った。

領 収 証

No 011973

平成9/年4月26日

永見おし元 様

領収金額	百万		千	4	6	3	3	0	0	円
------	----	--	---	---	---	---	---	---	---	---

但し5/8 - 5/10 航空券 + 宿泊代として

上記金額正に領収致しました



島根県知事登録2-9号 全旅協保証社員
 株式会社 全国観光公社
 〒698-0023 島根県益田市常盤町5番29号
 TEL (0856) 22-1144
 FAX (0856) 22-1144
 E-mail: info@zenkannet.jp

取扱者
 西村